

株式会社オグラ総建様が「SDGs宣言書」を策定されました！
 ～「とうほうSDGsサポートサービス」による「SDGs宣言書」策定支援～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、お客さまのSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に関する取組みを支援するため、「とうほうSDGsサポートサービス（以下、本サービスとします）」をご提供しております。

この度、本サービスの利用を通じ、株式会社オグラ総建様が「SDGs宣言書」を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本サービスは、対話を通してお客さまのSDGsへの取組状況の確認と、経営課題の見える化を行うことで、お客さまの課題解決に向けた具体的な取組みをサポートしております。

また、診断結果に基づく「SDGs宣言書」の作成により、お客さまの特色ある取組みを発信するとともに、社会全体でのSDGsの機運も高めております。

当行では、引続きお客さまのニーズに応じたサービスを提供し、お客さまの成長・発展、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

発行企業	株式会社オグラ総建
代表者	代表取締役 小椋 博之
所在地	福島県耶麻郡北塩原村大字桧原 字蛇平原山1074-410
事業内容	一般土木工事業
企業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「人と自然を結ぶパイプライン」として、道路舗装工事、河川工事、水道施設管理の地域インフラを維持しております。 ・あらゆる危機や災害等に対して、適切に対応が可能な危機管理体制を構築し、持続可能な地域づくりに貢献しております。



宣言書を手にする小椋社長



東邦銀行グループでは、『とうほうSDGs宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

SDGs宣言書



2023年4月1日

株式会社オグラ総建は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

株式会社オグラ総建

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた取組みを以下の通り宣言します。

カテゴリ	テーマ	具体的な取組み	SDGsゴール
人権・労働	ワークライフバランス 人材育成 安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> 社員それぞれが仕事と家庭の両立が実現できるよう、時短勤務や休暇を取得しやすいストレスフリーな職場づくりに取組んでおります。 スキルアップの意欲を尊重し、資格や免許取得を支援しております。 定期的な現場ごとの安全確認を実施することにより、常に社員と地域の安全に心がけております。 	
社会貢献 地域貢献	地域づくり 地域経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 災害協定に基づき自然災害発生の際には自治体と共にインフラ復旧に対応し、安全・安心な災害に強い地域づくりに貢献しております。 社員による地域消防団への積極的な参加を通して、地域の皆さまとより近い関係を保ち、地域活性化と安心・安全な暮らしづくりに、共に取組んでまいります。 	
環境	サーキュラーエコノミー 脱炭素・省エネ 環境配慮設計 社会問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 自社の事業活動に伴う廃棄物の種類や量を記録するとともに、発生する資源の3R（リデュース・リユース・リサイクル）に取組み、廃棄物ゼロを目指します。 排出ガス対策型、低騒音設計の建設重機・車両やLED電球等を使用し、地球温暖化防止と地域環境への配慮に取組んでおります。 「人と自然を結ぶパイプライン」として、道路舗装工事、河川工事、水道施設管理の地域インフラを維持しております。 土木・水道・舗装工事のエキスパートを目指し、技術の発展に努めるとともに、ホームページにおいて施工状況を公開してまいります。 	
製品・サービス			
内部管理 組織体制	DXの推進 リスクマネジメント 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> IoT活用による品質管理の一元化や社内ネットワークの構築により、工事品質の向上と事務効率化を実現してまいります。 あらゆる危機や災害等に対して、適切に対応が可能な危機管理体制を構築してまいります。 企業キャラクターを活用した親しみやすい職場環境の整備を進め、多様な人材の採用や事業活動の情報発信に努めております。 	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略称です。2015年9月、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で設定された、2030年を期限とする17のゴール（目標）と169のターゲットのことで、2030年までに、あらゆる貧困に終止符を打ち、不平等を是正し、気候変動に対処するなど「誰一人置き去りにしない」ための取組みを掲げています。